



寄り添い 伸ばす

荒川区立原中学校

# 学校だより

3月号

令和4年3月8日

荒川区立原中学校

校長 水井 雅史

## 節 目

荒川区立原中学校副校長 千葉 貴

3週間にわたったオンライン授業を経て、先週より平常の教育活動に戻すことができました。保護者の皆様にはご負担をおかけしたことと思います。この度の感染拡大防止の対応につきまして、御理解と御協力をいただき誠にありがとうございました。

3月を迎え、学校は1年間の活動の締めくくりと、4月からの進学・進級の準備の時期を迎えます。保護者・地域の皆様には、本校教育活動への温かいご支援をいただいたことに深く感謝申し上げます。

さて、先月開催された北京冬季オリンピックでは、大会前からメダルを期待されて競技に挑む選手が注目を集め、こうした選手たちの競技する姿から、胸を強く揺さぶられる場面がありました。

私自身もそれらの選手の姿に一喜一憂するとともに、競技を通じて、国を越えて称え励まし合う選手の姿や言葉に感動を覚えました。

一方で、メダル候補または表彰台確実と言われた選手たちが期待した結果とならず、失意の中で発する言葉が胸に深く残りました。

五輪3連覇が期待されたフィギュアスケートの羽生弓弦選手は、インタビューの中で『努力って報われないなと思いました。僕はオリンピックで金メダルを取るために、そして4回転半を決めきるための正しい努力をしてこれたと思っています。自分の中では一番いい、一番近いアクセルが跳べたと思っていますので、その点では満足しています。』と語りました。金メダルを取れず4位に終わった直後にもかかわらず『その点では満足している』と分析できる世界のトップアスリートの資質に感服しました。

失敗はしてもフィギュアスケートの公式記録に『4回転半』を公認させた羽生選手の偉業は金メダルと同じ価値があると思います。

またフリースタイルスキー女子モーグルの川村あんり選手は決勝で5位となった後、『メダルを取れなくて申し訳ない。』と涙を流しました。よほどの重圧があったことを想像するとともに、『申し訳ない』は支えてくれた人々への言葉なのでしょう。周囲の人への感謝の心をもつ素晴らしいアスリートとしての人間性を感じるとともに、川村選手がまだ17歳の高校生であることを考えると、オリンピックでの



活躍は、観る者を熱くし勇気付けてくれたのではないのでしょうか。

スポーツの祭典に集う選手たちは、どんな名選手にも敗北や挫折があります。その敗北や挫折を糧として再起し、メダルを取ることだけでなく、前に進む確かな目標とその強い意思をもちます。

ここに競技スポーツにおける大きな価値があると考えます。

私たちはこうした選手の無念や苦節の姿から自分を重ね共感し、たくさんの感動をもらうのだと思います。

3月4日から北京冬季パラリンピックが開会しました。参加選手たちはこの大会を目指して鍛錬してきた力を発揮しメダル以上の達成感をもち、大会後、新たな目標に向かって再出発することと思います。

生徒も進級あるいは、新生活に向けて、4月から新たな目標をもってスタートします。自分の努力を適切に評価し、周囲の方への感謝の気持ちを忘れず、自らを輝かせてほしいと考えます。

私たちににとってのこの3月がそうした有意義な節目となることを願っています。

## 19の「サクラソウ」の成長に思いをのせて



3月末から4月にかけて花が咲きます

雪月花	せつげっか	初桜	はつざくら
白蜻蛉	しろとんぼ	鹿島	かしま
鶴髯	かくしょう	漁火	いさりび
衣通姫	そとおひめ	雪車	ゆきぐるま
琴の調	ことしらべ	蜃気楼	しんきろう
朱鷺の雛	とぎのひな	赤蜻蛉	あかとんぼ
有明	ありあけ	初鳥	はつからす
松の雪	まつゆき(2つ)		
天女	てんにょ		
酒宴の床	うたげのどこ		
南京小桜	なんきんこざくら		

### 原中生の素晴らしさ ⑪ 全校朝礼

コロナ感染を考慮して多くの学校が教室での放送による朝礼を実施しています。本校では、縦横の生徒の間隔を取り、相互の距離を開けて整列する等の感染対策を講じて、体育館で朝礼を行ってきました。

きちんと整列して校長先生の話をお聞きする姿から一年間の生徒の成長を伺うことができます。生徒と先生の心が一つになり、原中の学校生活を形作っています。

### 3月行事予定

28	月	朝礼		16	水	てらこや
1	火			17	木	卒業式準備
2	水	てらこや		18	金	卒業式
3	木			19	土	
4	金			20	日	
5	土			21	月	春分の日
6	日			22	火	
7	月	朝礼		23	水	保護者会
8	火	各種委員会	B 6	24	木	給食終 大掃除
9	水	避難訓練 てらこや		25	金	修了式
10	木	校外学習(3年)		26	土	春季休業日始
11	金	中央委員会		27	日	
12	土	授業日(給食なし)		28	月	
13	日			29	火	
14	月	生徒朝礼 安全指導		30	水	
15	火	卒業式予行	B 6	31	木	

◎ホームページに、学校だよりを掲載しています。ぜひご覧ください。

原中学校校歌 尾久の原をそよぐ 風はやさしくて  
桜草の花が清らかに 咲きほこる… (歌詞)

荒川区立原中学校校歌  
作詞 校歌制定委員会  
補作 松井孝夫  
作曲 松井孝夫

一 尾久の原をそよぐ 風はやさしくて  
桜草の花が清らかに 咲きほこる  
未知なる明日に 夢をいだき  
明るい笑顔で さあゆこう  
われらの原中学校 希望を胸に  
新しい世界を 築いてゆこう

二 朝陽浴びて光る ゆるやかな流れ  
隅田川のほとり 大らかに育ちゆく  
未知なる明日に 心ときめき  
元気な笑顔で さあゆこう  
我らの原中学校 理想を胸に  
新しい世界へ はばたいてゆこう



生徒会や防災部の生徒が欠かさず水やりをしてきた19の「サクラソウ」の苗が根付きました。それぞれに、素敵な名前が付けられた貴重な苗です。

もうすぐ、この小さな苗がそれぞれの品種に応じた花を付けます。校歌にあるように全ての原中学校生徒に希望と夢を抱かせることを心から願っています。いつまでも大切に生徒の心をつないでいきたいと考えています。



